

コメント

1. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

定点当り0.92人とやや増加しており、3週続けて増加しています。今後、冬期にかけて増加が予想され注意が必要です。安芸区3.5人、佐伯区3.0人となっています。

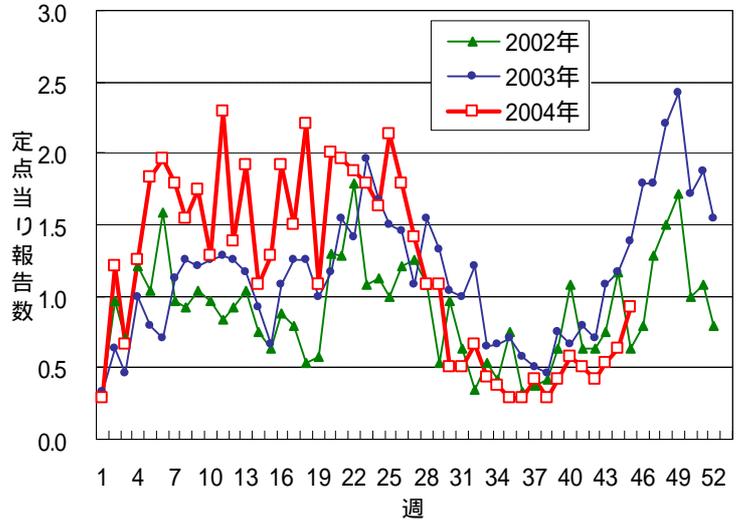
2. **感染性胃腸炎**

定点当り5.38人とやや増加しており、3週続けて増加しています。安芸区では11.0人となっています。

3. **水痘**

定点当り1.00人とやや増加しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	-	-	-		麻疹 (注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.05		流行性耳下腺炎	19	0.79	0.78	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	1.13		RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	129	5.38	4.73		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	24	1.00	1.57		流行性角結膜炎	6	0.75	0.97	
手足口病	8	0.33	0.66		細菌性髄膜炎	-	-	0.07	
伝染性紅斑	3	0.13	0.26		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.32	
突発性発疹	17	0.71	0.60		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	
百日咳	2	0.08	0.01		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.09						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均 (定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(注3)	成人麻しん
報告数	広島市	-	4	12	120	17	3	2	22	1	1	4	-	11	1	-	6	-	2	6	-	-
		-	6	10	66	17	1	1	14	2	-	3	-	9	-	6	-	-	3	-	-	
		-	3	13	90	24	5	1	15	2	-	4	-	17	1	-	4	-	1	3	-	-
		-	2	15	104	16	3	1	23	-	-	2	-	23	-	-	5	-	-	-	-	-
		-	2	22	129	24	8	3	17	2	-	-	-	19	-	-	6	-	1	1	-	-
定点当り	広島市	-	0.17	0.50	5.00	0.71	0.13	0.08	0.92	0.04	0.04	0.17	-	0.46	0.04	-	0.75	-	0.29	0.86	-	-
		-	0.25	0.42	2.75	0.71	0.04	0.04	0.58	0.08	-	0.13	-	0.38	-	-	0.75	-	-	0.43	-	-
		-	0.13	0.54	3.75	1.00	0.21	0.04	0.63	0.08	-	0.17	-	0.71	0.04	-	0.50	-	0.14	0.43	-	-
		-	0.08	0.63	4.33	0.67	0.13	0.04	0.96	-	-	0.08	-	0.96	-	-	0.63	-	-	-	-	-
		-	0.08	0.92	5.38	1.00	0.33	0.13	0.71	0.08	-	-	-	0.79	-	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-
全国	第43週	0.01	0.12	0.83	2.76	0.70	0.99	0.11	0.67	0.01	0.01	0.14	-	0.98	-	0.02	0.74	0.01	0.03	0.26	0.01	-
	第44週	0.02	0.12	0.87	3.02	0.70	0.98	0.12	0.69	0.01	0.01	0.12	-	0.91	-	0.01	0.65	0.02	0.04	0.26	0.01	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

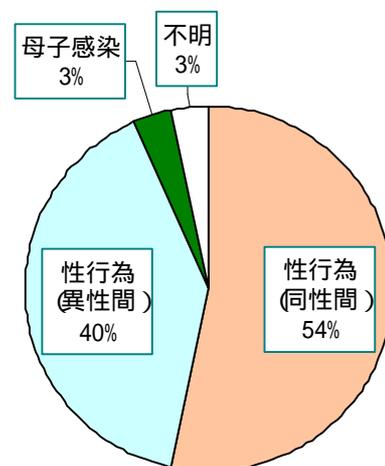
新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	29	男	2004/09/02	咽頭拭い液	エコーウイルス18型
痲疹重積	0	女	2004/09/23	髄液	エコーウイルス6型

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の感染経路別報告数

(2000年～2004年第45週)

年	性行為(同性間)	性行為(異性間)	母子感染	不明	計
2000	2	1	0	1	4
2001	0	2	1	0	3
2002	1	1	0	0	2
2003	2	3	0	0	5
2004	11	5	0	0	16
計	16	12	1	1	30



2000年から2004年第45週までに30件が報告されています。30件の感染経路別内訳は、性行為によるものが全体の94%とほとんどを占めており、同性間が54%、異性間が40%となっています。2004年は特に同性間の性行為による感染の報告数が増えています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2004年第45週 (11月1日～11月7日)